

Motto いつでも 誰でも 安心してかかれる病院

あなたに贈る健康へのメッセージ—— 知ってください病院のこと、身体のこと

医科大どおり

能登町宇出津あばれ祭り



夏【2007】 季刊誌第13巻第1号 発行/金沢医科大学病院 編集/金沢医科大学病院ニュース編集委員会

病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さま・ご家族への“説明と同意”を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さまの権利

当院は、医療の中心は患者さまであると認識し、患者さまには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望される場合は、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報保護に厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さまへのお願い

当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さまには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話ください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さまの迷惑にならないようご配慮ください。
- 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

はじめまして

初めてのお産で、「破水かも！陣痛かも！」と先生方、助産師さん、看護師さん達に予定日過ぎてから何回も空騒ぎをして、大変お世話をかけました。立ち合った母は、朝の3時から一緒に戦ってくれ、すり傷まみれになりましたが、無事、皆さんのおかげで出産できて、心から母子共に感謝しています。TVとはやっぱり違うと思い、母に「こんなしんどい思いして生んでくれたんや。ありがとう。」とその時伝えました。出産時には、色々あった由依もすすく病院内で育ってくれたので、家に帰ってから、お互い0オスタートということで、気長にやっって行こうと思えます。



金森さん

おかあさん
千恵(ちえ)さん
赤ちゃん
由依(ゆい)ちゃん
平成19年5月12日生
3,030g 女の子

石川の祭シリーズ まめ知識

能登町宇出津あばれ祭り

約330年前の寛文年間(1661~1672)のこと。当地に悪病が流行したため、京都の祇園社から牛頭天王を勧請し、盛大な祭礼を始めたところ、神霊と化した青蜂が悪疫病者を救ったといわれます。大変喜んだ地元の人々はキリコをかついで八坂神社へもうでたのが始まりとされています。高さ7m、40数本の奉燈が町を練り歩き、2基のみこしを海や川、火の中に投げ込んであばれる勇壮な海の祭典となったことから「あばれ祭り」として知られるようになり、代表的な石川の夏の祭となりました。

編集後記

先日神戸で、看護協会の研修がありました。その研修で当院の教授が講師として担当されており、当院の写真を紹介しました。「金沢医科大学病院の新館病室はオーシャンビューです。」の一言に、研修参加者が、皆そろって「うお〜」と、どよめきがあがりました。今まで当たり前のように眺めていたものが、こんな自然に囲まれたすばらしい病院に勤務しているんだと改めて実感しました。本当に素敵なんですよ。窓から眺める夕焼けも朝焼けも…！夏になればイカ釣り舟の灯火が水平線に見え隠れします。穏やかな風の向こうに沈む夕日を眺め、患者さまと一緒に語りあい、また楽しみたいなあと思います。 瀬戸 奈穂美

院内にご意見箱を設置しております。みなさまの「声」をお聞かせください。



金沢医科大学病院

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します

- 患者さま中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

遺伝子医療センター

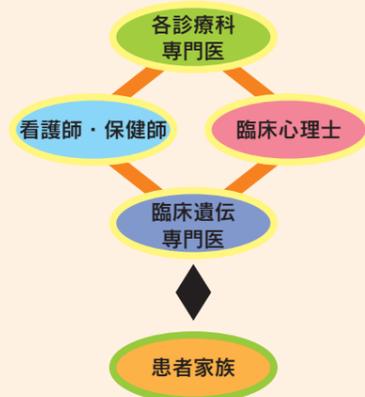
遺伝子診療の推進に向けて

遺伝子医療センター
センター長 柿沼宏明

遺伝子医療センターでは、遺伝子診断を受けようか迷っている方、染色体異常、先天奇形、先天性筋疾患(筋ジストロフィなど)、神経変性疾患、家族性腫瘍、その他の遺伝病の患者さんと家族を対象に、遺伝カウンセリングをおこなっています。

■遺伝カウンセリングとは！

ヒトは、およそ24,000個の遺伝子を、それぞれ2コピーずつ持っています。子どもは両親から、それぞれ1コピーの遺伝子を受け継ぎます。これが遺伝現象です。病気と関係する遺伝子変異もまた、親から子へ、子から孫へ代々受け継がれ、これが遺伝病の原因となります。遺伝子検査は、この遺伝子変異を調べる検査で、遺伝病の診断に利用されます。遺伝病の中には、治療ができる病気があります。症状が出る前に、遺伝子検査を利用して診断し、治療をはじめることができれば、患者さまには有利かもしれません。これを発症前診断といいます。ところが、治療法がない場合には、発症前診断には倫理的問題があり、遺伝子診断をおこなわない方がよい場合もあります。遺伝カウンセリングでは、遺伝子検査を希望する患者さまに不利益にならないように、遺伝子検査をおこなった場合、おこなわなかった場合について、どのような利点や欠点があるのか、正確な遺伝学の知識や情報を提供します。同時に、遺伝に悩む患者さまと家族に対して、専門のスタッフが心理的に支援することも遺伝カウンセリングの役割となります。遺伝病は、あらゆる診療科にみられ、それぞれの科で専門医が診療しています。遺伝カウンセリングでは、診療科の垣根を越えて専門医が集まり、カンファレンスを通して情報を整理し、臨床遺伝専門医と専門スタッフ(専門保健師、臨床遺伝学担当者、臨床心理士)が患者さまと対面することによって、診療をおこないます(図)。



遺伝子診療の推進に、遺伝カウンセリングを欠かすことはできません。遺伝子診療は、遺伝子検査を効果的に利用する診療で、オーダーメイド医療など次世代の医療として、今後の発展が期待されています。たとえば、ある薬では、薬の副作用が強くでる遺伝型が分かっている場合には、あらかじめ遺伝子検査で、その遺伝型を調べておけば、副作用を心配しないで使用することができるかもしれません。これは、患者さまにとっては有利です。このように、遺伝子診療を円滑におこなうためには、遺伝カウンセリングを利用して、正確な情報を得ることが鍵となります。

■遺伝子医療センターへのアクセス

遺伝に悩んでいる方、遺伝子検査を勧められ、受けようかどうか迷っている方は、まず、遺伝子医療センターにご連絡ください。毎週水曜日と金曜日の午後3時から5時の間に、専門スタッフに連絡できる専用電話があります。緊急な場合、21世紀集学的医療センター受付に連絡すれば、専門スタッフから折り返し連絡いたします。遺伝カウンセリングを希望される場合は、同じく、毎週水曜日と金曜日の午後3時から5時の間で、診療を予約します。所要時間は1時間です。保険診療ではありませんので、自費となります。費用は、病院にお尋ねください。

(記: 柿沼宏明)

泌尿器科

前立腺癌の最新治療【密封小線源治療】

泌尿器科
教授 鈴木孝治

■はじめに

前立腺は男性だけに存在する臓器です。前立腺癌はこれまで日本人に比較的少ない疾患でしたが、生活・食事の欧米化、人口の高齢化により発生が急増しています。厚生労働省は2020年には胃癌や大腸癌を抜き、肺癌に次いで多く発生すると予測しています。

そのため検診や人間ドックなどで前立腺癌の早期発見のための血液検査が積極的に行われるようになっていきます。

■前立腺癌の治療法

前立腺癌の治療は内分泌療法、手術、放射線療法が三本柱です。

早期前立腺癌の治療はこれまで手術が中心でしたが密封小線源治療という新しい治療法が開発され米国では手術と同じ数の患者さまがこの治療を受けるようになっていきます。金沢医科大学病院ではこの治療法を本年3月から行っています。

■密封小線源治療とは

弱い放射線を出す小さな線源(直径1mm、長さ5mmのコード125を密封したチタンカプセル)を前立腺内に50から100個ほど埋め込んで癌を治す治療法です。欧米ではこの10年で優れた成績が報告されてきており手術に並ぶ治療法となっています。日本では2003年秋よりこの治療法が開始されています。

この治療の利点は、手術より短期間(3泊4日)の入院で治療できること、手術がで



シード線源挿入後のX線写真
前立腺にシード線源が挿入され配置させている

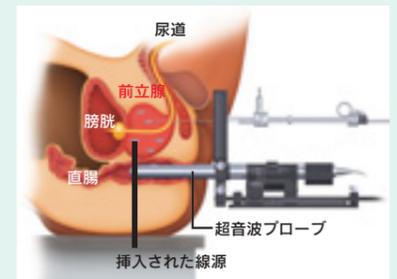
きない高齢の方にもできること、性機能の温存が手術に比べると良好であること、尿失禁などの合併症が手術の方よりは少ないことなどが挙げられます。ごく稀に他の放射線治療と同様に、直腸や尿道などに合併症が起こることもありますが、多くの患者さまで日常生活の高い質が保たれます。

■密封小線源治療の適応

年齢80歳までで癌が前立腺内に限局していることがこの治療の対象となる条件になります。

■密封小線源治療の実際

治療3週間前に外来通院して頂き、実際の治療と同じ状態で前立腺超音波検査を行い、必要な線源(カプセル)数を計算します。治療は腰椎麻酔(半身麻酔)で行います。治療時間は2時間程度です。会陰部から針を挿入し、超音波で確認しながらコンピューターで計画された位置に、線源(カプセル)を留置します。翌日CTとMRI検査を行い、翌々日退院となります。退院1ヶ月後に、外来受診して頂き治療後の検査を行います。



治療費は線源代を含め全て保険の適応になり3割負担の場合、自己負担額は30~40万円程度です。また、高額療養費の申請ができます。

火曜日13~15時に宮澤准教授が前立腺外来を行っていますので密封小線源治療に限らず前立腺癌に関するご質問・ご相談がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

(記: 宮澤克人)

平成19年4月1日より、当院に内視鏡科が新設され、感染対策室が設置されました。

内視鏡科新設

近年、胃カメラ、大腸カメラなどの消化器内視鏡、処置具などの発達により、これまでより、苦痛が少なく消化管内視鏡検査が可能となり、病変の早期発見の機会が増え、早期病変であれば癌でも開腹せずに内視鏡での治療が可能な時代になりました。特に、がん病変が消化管壁の表層に留まっている病変ならば、内視鏡的粘膜下層切開剥離術(ESD)といわれる手法で、がん病変を内視鏡的に切除し、治癒させることが出来るようになりました。また、悪性疾患だけではなく、胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎などの良性疾患に対しても、内視鏡所見、診断を参考に適切な治療法を選択できるようになりました。以上のように、消化器内視鏡検査・治療は、早期発見、早期治療につながることから、日常臨床の中で非常に重要な位置を占めるようになりました。以前よりこのような、消化管の悪性疾患、良性疾患の診断や治療を専門的に行う部門の設立が望まれておりましたが、2007年4月1日

より当大学病院の30番目の臨床科として内視鏡科が設立されました。当科は消化器癌の内視鏡診断を基にしたより正確な深達度診断(消化管の壁にどのくらい癌が深く入り込んでいるかを検討)を行い、外科的な治療が必要か、内視鏡治療が可能か判断致します。そして内視鏡治療が可能な病変においては前述した高度な内視鏡治療を行っております。また、早期発見の最前線と言われる人間ドックにおいても、上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査(S状結腸内視鏡検査)を担当し、見逃しのない、より正確な診断(質の担保)を目標に消化管病変の発見に日々努力しています。また院内の他科からの消化管病変の内視鏡対診(依頼)、治療などを即座に対応出来る様に努力致しております。現在はメンバーも少を即座になく、皆様にご迷惑をかけておりますが、新設された内視鏡科を宜しく願いたします。

(記:内視鏡科 科長 伊藤 透)



内視鏡科スタッフ

感染対策室

感染をめぐる最近の話題としては、SARS、高病原性鳥インフルエンザなどの新しい感染症や多剤耐性菌の出現、加齢により抵抗性の衰えた高齢者の結核の再発、麻疹の流行などがあります。また、適切な感染管理体制を求める病院機能評価、医療保険制度の改定、医療法の一部改定など、感染管理を取り巻く状況は予想以上に変化してきています。そして患者さまやその家族が医療/ケアの質を評価し、それに基づいて医療施設を選択する時代です。

当院では感染管理の専門家を配置し、感染予防に組織的に取り組んできましたが、さらに強化する目的で、本年4月1日付けで「感染対策室」が設置されました。感染対策室長・感染対策副室長・感染管理担当事務は併任でそれぞれ1名と専任感染管理認定看護師1名のスタッフで構成され、院内感染対策を組織横断的に実践する病院長直属の実働部隊として位置づけられています。感染対策室の役割には2つの方向性があります。1つは院内感染

を予防し医療の安全を保つことであり、もう1つは、発生した感染症に対して迅速に対応することです。

感染症の発症のプロセスとしては、病院内に生息する微生物が患者さまに侵入することで感染症が発症する、患者さまの体内に既に定着した微生物が、手術や化学療法などを行うことによる状態の変化に乗じて感染症を発症するなどがあります。この感染症発症のプロセスを遮断するために感染対策委員会、感染対策小委員会、および各病棟等の担当者と協働し、病院職員全員で取り組んでいます。患者さまや面会者の方にも感染予防のために、咳が出るときはマスクを着用する、手を石鹸で洗ってもらうなど協力をしていただいています。

感染予防や感染症についての疑問や要望などありましたら、感染対策室にご相談ください。

(記:感染対策室 室長 早瀬 満)



感染対策室スタッフ



あなたは身体のどこか、痛みを感じる場所は、ありませんか？
まずは痛みの原因を知ることから治療は始まります。
日頃身体のあちこちの痛みを悩んでいる方のための
「痛みを解決する」コーナーです。

「膝の痛みについて」



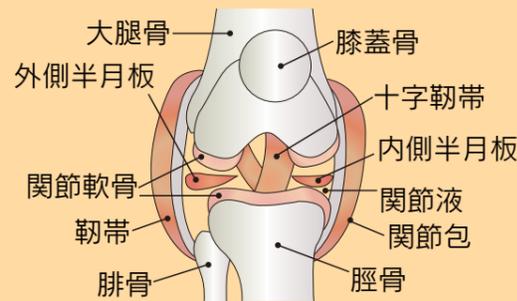
膝関節について

膝関節は大腿骨と脛骨で構成される関節で、歩く、座る、立ち上がるなどの日常生活動作を行う際に大切な役割を果たしています。膝関節には靭帯や半月板、軟骨などの組織があり、これらを損傷すると痛みを生じます。ケガやスポーツで傷めることが多いのですが、加齢により自然に傷んでくることも少なくありません。

ここで5秒間脚を静止します。そしてゆっくりと脚を床におろし、2~3秒間休めます。これを左右の脚で20回ずつ繰り返すのですが、状態に応じて回数は適宜増減して構いません。運動療法はすぐに効果がでるわけではありませんが、長い目でみれば膝の痛みに対してとても有効な治療法の一つですので、薬物療法や注射療法とならんで是非試すべきだと思います。

変形性膝関節症について

膝の軟骨が年齢とともに次第にすり減り、関節の変形と痛みのために歩行障害をきたすのが変形性膝関節症です。お年寄りの病気と思われがちですが、中高年の方で「立ち上がる時に膝が痛い」、「正座ができない」、「膝が腫れてきた」などの症状がある場合は初期の変形性膝関節症である可能性があります。早めに専門医の診察を受けたほうがよいでしょう。



ヒアルロン酸の関節注射について

ヒアルロン酸は関節液や関節軟骨に多く存在し、膝の動きをスムーズにする潤滑油の働きをしています。変形性膝関節症ではヒアルロン酸が少なくなっているため、関節内へのヒアルロン酸注入が効果的です。ヒアルロン酸は関節の炎症を抑え、すり減った軟骨表面を覆うことで痛みを改善し、さらに膝の動きを滑らかにして軟骨の変性を防ぎます。ヒアルロン酸は痛みをとるだけでなく軟骨を保護する性質をもっている薬剤であり、変形性膝関節症に対するヒアルロン酸の関節内注入は非常に効果的な治療といえます。

(記: 整形外科講師 杉森端三)

運動療法について

変形性膝関節症と診断されたとしても、痛みや腫れが強くない限り必ずしも安静にしている必要はありません。できることは何でも積極的に行って下半身が弱くなることを防ぎましょう。自宅でできる運動を毎日コツコツ続けることが大切です。特に脚上げ体操は、大腿四頭筋(太ももの前側の筋肉)を鍛えることによって膝の痛みを緩和し予防する効果があるのでお勧めです。仰向けになって片方の膝を直角に曲げ、もう片方の膝は伸ばしたままでゆっくり上げ、床から10cmのと



なっとく サプリ

サプリメントをシリーズで特集している
今回のテーマは脂溶性ビタミンです。



現代人とビタミン

今の日本は、飽食の時代と言われるように食べ物が豊富にあり、ビタミン不足の心配などないと思われています。確かに、昔のようなビタミンB1欠乏による脚気といった典型的なビタミン欠乏症は少なくなりました。しかし、ビタミン欠乏症にならないまでも、現代人は、潜在的なビタミン不足の人が多いようです。例えば、偏食、極端なダイエットなど乱れた食生活によってビタミン不足に陥ることがあります。

ビタミンとは？

ビタミンは、微量で身体の生理機能の調節を行っている栄養素です。体内ではつくり出すことが出来ないため、食物から摂らなければなりません。ビタミンは、油に溶ける脂溶性ビタミンと水に溶ける水溶性ビタミンに大別されます。

脂溶性ビタミンの働きとは？

脂溶性ビタミンにはビタミンA、D、E、Kの4種類があり、以下のような働きがあります。

- **ビタミンA**…眼の機能を正常に保ち、皮膚や粘膜の健康を保つ
- **ビタミンD**…カルシウムの吸収をよくし、骨や歯を強くする
- **ビタミンE**…活性酸素から体を守り細胞の老化を防ぎ、血液の循環をよくする
- **ビタミンK**…血液の凝固因子の合成に関わる

脂溶性ビタミンが不足すると？

脂溶性ビタミンの欠乏症および、欠乏症状は以下の通りです。

- **ビタミンA**…夜盲症 皮膚乾燥 免疫力の低下
- **ビタミンD**…骨軟化症(成人) くる病(小児)
- **ビタミンE**…溶血性貧血 頭痛 肩こり 冷え性
- **ビタミンK**…出血



ビタミン剤を利用する場合の注意点

脂溶性ビタミンは水溶性ビタミンと異なり、体内で使われない場合は肝臓に蓄積されるため、過剰摂取しないように注意が必要です。例えば、ビタミンAを過剰に摂ることで、頭痛 吐き気、食欲不振、皮膚の荒れなどの症状が起り、妊婦の場合は胎児の奇形が心配される場所です。特に、妊婦、乳幼児、肝臓や腎臓など内臓に疾患がある場合は、摂り過ぎを避けましょう。病気治療中にサプリメントを使用する場合は、医師に必ず相談することが大切です。

(記: 栄養部 木村律子)